

U C

略號

至急電報
宛次官

總參覽第六八七號

昭三三六
六八二四四
支那派遣軍總參謀長(南京)

日誌用

一 訓令軍字第四九號要旨

(1) 中國陸軍總司令部五月三日解散ス

(2) 六月一日以降ハ參謀總長陳誠上將指揮ヲ受クハシ

(3) 投降及還送等關スル事項ハ陳誠上將指示ヲ仰ギ其命令ヲ受クハシ

二 何總司令部對日善後處理要員主任ハ新參謀本部第二廳

第一處編入セリ 各種業務從來儘トス

三 參謀總長職權

新撰典官制等關シ各地新聞掲載通シテ行政關スル事項ハ國府部長ヲ經テ行政要求シ又軍令關シハ主席直隸シ統帥ヲ處理ス

四、本改編、遂次業務支障及ボツ瓦如ク實施せし六月末迄ニ完了
スル豫定ナリ

通電先、一復、支復、甲、乙、銃(櫻)登(呂仁子)

波、秀、嶺

終

0312

次高

文書

史書部

法外
法外

~~内~~

一記

平文

急

電報譯

六月

日

午前

午後

一時

時

分

分

分

分

分

分

分

第 8 號

書課長宛

發信者宮城地方世話部長

安藤大將遺骨十三日仙臺著遺族八十五日

葬儀實施ノ希望ナリ公報發送差支ナク返

宮内省ニ對ス手續類ム

勅使ハ歸退ス

終

陸軍

0313

略號

至急電報譯

六月二日 午前午後 一三時三十分 發一六一五

第

號

文書
總務課

總務部長宛

發信者中 復員連絡局總務部長

史實部

中復史電第一一號

中村平警官

史實調査部附西浦幸務官ヲ臺灣軍殘務整理部ノ
代表者トシテ六月二十七、二十八、二十九日ノ各軍殘務整
理關係者會同ニ出席スル様便宜方取計ハレ度
尚當部ヨリ主計一ヲ參列セシムル豫定
宿舎手配セラレ度

(終)

陸軍

0314

連絡班ハ其所在地名ヲ冠シ例ハ「南京連絡班」ト稱スルモ中國側ニ對シテハ正式ニハ「中國戰區日本官兵善後總連絡局連絡班」略式ニハ「南京日本連絡班」等ト稱呼スルモトス。

三、中國申請件

連絡班ハ其所在地ニ於テ拘留セラレタル陸海軍民ニ對シ直接救恤及收容扶助ヲ主任務トシ併セテ其所在地區ニ於テ中國側ニ上申留用セラレアル歸國件陸海軍民、收容還送等ニ任ズルモトス。但シ上海連絡班ニ於テ居留民ニ關スル事項ニ關シ居留民關係殘置機關ト密ニ連絡シ之ヲ援助スルモトス。

四、通信連絡

各連絡班相互間、連絡ハ中國軍通信機關、狀況ニ依テ交通部通信機關又ハ郵政機關ニ依存シ内地ト連絡

通常南京班ヲ經由スモトス 細部ニ関シテハ追ツテ示ス

五、指揮系統

各連絡班ハ直接總司令官、指揮ヲ受ケ總司令部本部
南京岌發後（上海連絡班ニマリテハ總司令部本部上海
岌發後）ニマリテハ南京以外、連絡班ハ南京連絡班、指
ヲ受ケルヲ本則トス但シ通信連絡、困難性ニ鑑ミテ各連
絡班ハ任務ニ基キ夫々独立的ニ勤務スルモトス

六、轉屬

各連絡班職員茲ニ拘留及非留用（叛國非志望者ヲ
除ク以下同ジ）陸軍々々軍屬（總司令部職員ヲ除ク）ハ
夫々所屬方面軍（軍）司令部復員完結時（上海連絡
班職員ニマリテハ總司令部、上海到着時）ヨリ夫々總司
令部附又ハ同勤務ヲ命ジ若シテ一各連絡班内地（叛還
前ニ總司令部、復員完結セザルベカニサル場合ニハ各連絡班

職員及非拘留用陸軍々々軍屬、人事上、取扱ニ関シ
別送、措置ヲ講ジ以テ後顧、憂ヲナカシム

七、歸還時機

各連絡班ハ別命ナク概ネ本年末頃非拘留者中釋放セ
ラレシモ、及年末迄、非拘留者ヲ收容上内地歸還スルモ、
ト之判決被拘留者、公判終了ニシ場合又資金缺乏
其、他中國側、要求等ニ依リ殘留シ得ルヲ得サルニ至リタ
ル場合ニアリテ八年末以前ニ適宜歸還スルコトヲ得
而シテ此、際被拘留者（特ニ陸軍軍人軍屬）ハ極力之ニ
收容スルモトス

八、其、他

鼓樓金銀街四號

(1) 南京連絡班ハ南京特別市金銀街四號ニ開設總司

令部本部南京出發（七月中旬、豫定）ト共ニ其、業務

ヲ開始ス

(2) 其他、連絡班ハ其、開設場所ヲ速クニ報告スルモトス
(3) 各連絡班、宿營給養身分保護等ニ関シテハ、夫々各地
中國、關係機關ニ申請シ處理スルモトス

通電先

甲、上海（統、登、呂、櫻、仁、總）
復員本部 局長
太原、青島、漢口、廣州、台北

（終）

第一課

長

平文

至急電報

宛 局長

シヨンケール長崎無線

V 七七七 船長

船

二七、七、
八七、七、
一〇〇二、
〇九七〇、
二五三〇、
〇〇〇〇、
船受若巻

支那派遣軍總司令部 十一日 頃浦賀着 歸還ノ由

支那派遣軍復員本部ニ傳達乞フ

(電註、支復ニ轉電済)

(終)

日誌用

0321

第一班事務官

平文

至急 電報譯

七月二日 午前午後一〇時一五分發一五二〇受

發信地 石

檢閱者

陸

更貴調査部長宛

發信者南方軍務整理部正長

南復電 第三九號

貴第四九九號電返

業務繁忙ニシテ至急出頭セシメ難シキニ付諒承サレ度

尚今井少佐ハ死亡セルニ付申シ添フ

右目下來部中ノ貴局ヨシモチ事務官ニ連絡セルヲ以テ

同官ヨリ貴情御聽取アリ度

(終)

0322

南方關係「土民軍の編成裝備等」ニ關スル聯合	軍ヨリノ作業要求アリタルニ付ナルベク今井少佐	已テ得サレハ美濃部少佐ヲ至急ニ出頭セシメラ	シ度	尚宮坂中佐モ同行歸還セラルレバ好都合ナリ	昭和十一年七月七日
-----------------------	------------------------	-----------------------	----	----------------------	-----------

0324

局長	文書課	入學課	総務課	総務課	職員課	資料課	業務課	海運課	史蹟課	法務課	連絡課	主守課	整理課	二科局	官内省	内務省	外務省	厚生省
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(第二復員局ヨリ廻付)

至急電報

◎ 総務部、各復、博運

第一番電 (三一五〇〇)

◎ 胡蘆島飛遷隊長

九月三日十八時現在

一、算面、S B 〇九、高栄丸、長運丸、新興丸、エン言丸、ダイイク丸

氷川丸、V七四、V五七、V六九、V七〇、Q九四、Q六九、Q五六

計一九隻

二、八二八七 (V二、VH三、Q八二、V八二、聖風)

三、哈爾茨方面ヨリ約三〇〇〇長春ニ集結

尚一白約六〇〇南下シツツアリ、尚通河岸東直回ヨリ一白約五〇〇

移細ク開始也

四、齊齊哈爾ヨリ錦西直通列車中ニ約五〇名ノ乗客ヲ見テ思存アリ

今後ハレラニニ變リ揚子ス、ハスト思存(慮)

ニ誌用

0325

◎ 佐世保上陸地連絡所

◎ 總務部、佐復總務部

第一〇番電（〇六一六〇〇）

歸還軍人報告 第三三八號（九月六日）

六 LST 一隻（遲）

六 捕頭 九月五日

六 胡蘆島 八月三十日

六 八三四

六 連 一六 民八三三、（内陸軍々屬二三）

終

0326

略號至急電報

宛次官

統參復電第一五九號

統部隊參謀長(上海)

昭二一六
六〇四二一三〇發
二〇三〇受
五〇〇〇受
六〇三〇受

五月二十六日武漢行營(衛字第三七號)ヨリ現在武漢地区
出發未完了各部隊、中隊長以上、長全員、殘置ヲ命ゼラレ
(五月二十三日口達命令受領)現在第六方面軍司令部ニ收容シ
目下其ノ解除並ニ部隊追及方中國側ト接衝中ナリ依ツテ
五月二十四日以降漢口出發各部隊、隊長代理ヲ以テ前進セシメテ
ルニ付諒承セシメ度

通電先 統上海先遣隊

北支、鄭州、徐州

參考次官

總

(終)

日誌

0329

(第三復員局ヨリ廻付)

至急電報

昭二一〇
海三六
二五

署 二復總務部長

第八番電(二一七四三)

宛 吉田外務大臣

送 胡盧島副領事

本月二十日 各收容所ニアル邦人約三万輸送途中ニアル者約五千 合計約三万五千名アリ

右ノ内 本月三十日頃乘艦予定、奉天運送總所職員部隊ヲ最後トシテ本年度在滿邦人、計畫送還ハ完了、見込ミ 右ノ他

(1) 中央軍地區留用技術員 約四万 其他一万

(2) 中央地區殘留者約五万 合計約一〇万名アリ、内約三分ノ一ハ 今後留用解除若シクハ引出シ、可能ナルニ付 是等ハ一應 奉天ニ集中セシメ一定數ニ達スルヲ待テ 隨時胡盧島、秦皇島、太清等ヨリ送還ノ方

0330

法ヲ採ル様當地米軍ニ申込ミタル處 政府ヨリモマ
ツカアサーレ司令部ニ同様ノ申込レア度

三、胡盧島米軍ハ十一月十四日迄駐屯シ今後ハ移動送
送還(チーム)トシテ中國各地殘存邦人ノ還送ニ當ル趣
ニ付小官ハ本部隊ニ雇員トシテ採用方運動中ナル處
米軍司令部ノ打合せニ依レバ日本政府ヨリ「マ」司令
部ニ申請スレバ許可セラルル見込マル由ニ付小官並ニ
助手トシテ 笛木三郎ノ採用方至急御申入レ願ヒ度
四、石井書記官ハ奉天ニテ越冬スル筈ニシテ委細ハ近
ク歸國スル野沢リジン 矢富技手ヨリ聴取ヲ乞フ

(終)

0331

(第二復員局ヨリ廻付)

至急電報

① 總務部、博運、佐復

② 昭二一、一〇、二五、名
胡盧島派遣隊長

第八番電 (一六、一〇〇〇)

十月十六日 現在

一、丁一七三、蕩、V二二、榎、Q二四、Q六三、初櫻、V九三、

初梅、柿、計一〇隻

二、本日出港予定船

雄竹、萩、海一〇六、攝津丸、穩岐、Q五七、計六隻

三、十五日出港船

① 佐世保行 Q七〇 (一二四〇) 十九日十時

Q七九 (一二四一) 十九日八時

Q三 (一二二七) 内陸軍五〇 十九日十二時

② 博多行 V H三 (一二七七) 内陸軍一四一 十九日十六時

V九六 (三五五三) 十九日十二時

③

0332

桐

① 電信課、ニ復總務部長、横復、横運

第一一番電（一八一五二二）

十四時四十五分「ガム」發 二十日 十四時 浦賀著予定

便乗者 八〇名 陸軍 三三一名、海軍 三八八名、軍風

八一名、要入院患者 九四名 内 要搭 一三名ヲ含ム

一 浦賀ニ於ケル主要修理事項左ノ通

イ 蒸化器 シヤマイタ、 ロ 冷却機、 ハ デーゼル發電機 三台

右ノ内 ハノ一台ヲ除キ是非共修理ヲ要ス

二 患者ハ狀況ニ鑑ミ入港後速カニ揚磁方手配ヲ得度

（終）

0333

第二復員局ヨリ廻付)

昭二一、一〇、二五、了

普通電報

若鷹

① 二復總務部

② 十方面艦隊 南西方面行動艦船

第二〇番電 (二一四〇九)

二十日「バレンバン」著 「バジ」ヨリ人員輸送完了(陸軍七四八名)

當地英軍ノ指示ヨリ二十日「バレンバン」發二十六日「バンコック」

著七四八名收容ノ上「シंगाポール」回航ノ予定、尔後行動未定

ニ燃料搭載報告(十月首、四「バレンバン」ハ「ニニバル」) (終)

③ 杉 ④ 二復電信課

第三番電 (二八三〇〇)

宛 二復總務部、横復、横種、浦賀上陸地出張所、通報 桐

一、十月八時「サイパン」發 二十日八時浦賀著予定

二、「カイパン」ニ於ケル收容数 陸軍九六(内將校六)海軍一三三、邦人

(沖繩人)一八五 計四一四

0334

三、ガム、カイバンに於ケル合計收容員數ハ杉莖一六一八二の番電聞取
 陸軍一三三、海軍一六九、海軍軍屬一四、邦人一八五計五〇〇
 遺骨 八柱
 四、入院患者 ナシ

(終) 杉

(著) 二復 電信課

(終)

第 一 番 電 一 〇 〇 〇

一、十六日十七時、カイバンに何ヶガム迄、十七日十五時、カイバンに著予定
 二、ガムに於ケル搭載人員數、陸軍三六、海軍三六、海軍軍屬一四、計八六
 三、浦賀出港時、觸衝ヨリ石敏推進器翼一枚ハ翼端ヨリ約四の程ヲ弯曲シ現
 在航行ニハ支障ナキモ二三節以上ノ回轉ニテハ相當振動ヲ生ス、浦賀入港時入渠
 ノ上換裝方取計ヲ得度

(終)

(終) ボゴヲ丸

(著) 二復 總務部、吳 横復

第 三 番 電 (一四 二〇四五)

一、七日、八日、九日、十日、十一日、十二日、十三日、十四日、十五日、十六日、十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、計三十一日、大竹ニ
 向ケシガボ、ハ、ニ、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、計三十一日、大竹ニ
 二、收容人員、ハ、ニ、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、計三十一日、要入院患者
 三、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、計三十一日、要入院患者

(終)

0335

標
箋

課内回覧



石

平文電報

宛 總務部

胡蘆島 派遣隊長

(長崎縣線)

一、十月二十五日夕刻還送可能者集積状況

胡蘆島 六〇〇〇、錦縣 五七、錦西 二〇〇

二、隔離期間の関係上二十七日並還送 存し

(蘇)

五、三五、一三五〇發
百、二七、一〇〇〇受
一、二〇〇〇受

昭和廿六年十月廿八日

日
持
用

0336

(第二復員局資料付)

至急電報

① 第二復員局

第 9 番電

一、二十三日 十六時三十分 かも電

二、二十八日 十五時 補償者の予定

三、收容員数 陸軍 二九名、海軍 二六名、遺骨 若干 (終)

② 線一九

③ 二復總務部、横復 ④ 摩、海一三六

第 二五番電 (二二一七三)

一、二十二日 十七時 かも電 二十六日 十一時 噴補償者の予定

二、收容人員、海軍 三八名、陸軍 二二名、計 六〇、

遺骨 六四柱、患者 一四名 内 要入院患者 五名 傳染病患者

若干、内訳後電

昭 二一、一〇、二九

⑤ 海 一三六

⑥ 二復總務部、横復

目録

0337

三、ガムに於ける補給量L0ニニニ四ボレト 糧食若干

四、主たる修理箇所

○ 機軸室主脈壁解持手漏洩

○ 内火祭電機三番ボルトン 船裏金燒損

○ 海水海管漏洩三箇

○ 五 三七

○ 六 總務部 各復

○ 七 一復 總務部

○ 八 第一番電 (二六、二五、二〇)

在上海日本連絡班の調査に依れば十月末日現

在 上海 (中支方面) に於ける殘留邦人 (軍人

軍屬を含む) の存在を急遽送還を要するもの一五

〇 〇名引續き 歸還を要する者込のもの一五〇

〇 〇名

0338

課長

一課目覽



十月二十四日(線)閣議要目

一、昭和二十二年年度豫算編成方針

總務課、経理部目覽

二、石炭不足による列車の削減について(運輸省発表案)

備考 北海道開發調査會設置規定案は次回迄留保された

總務課
昭二一
務十
課二四

決定

了解

目誌用

0339



文
美

一本文

普通

電報譯

九

月 月
日 日
午 午
前 前
後 後

一六時

二三分

一〇九三分

發信地

鳥取

發信者

陸

軍

鳥取電第 二六號

文書課長宛

發信者鳥取地方世話部長

ヤマモトカクヲ 二日 行ク

山本 格 男



和書部



取扱番號

0340

(第二復員局引廻付)

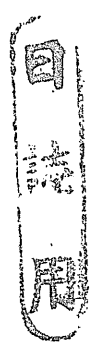
普通電報

④ 總務部、佐復

第五番電 (三五〇八三〇)

⑤ 胡廣島飛運隊長

昭二六 一、三、二



十月二十五日 八時 (現在)

一、海七八、栗島、桂、長運丸、D五七、海七五、V九九、Q三六

海一三四、Q六九、輸一四七、計二隻

二、本日 出港予定船 SB一〇九、D四四、Q八七、計三隻

三、二十四日出港船

博多行 氷川丸 一一三三名、D陸軍 一一二

VH二號 七七九名、D陸軍 八六

慶仙丸、一七一八名

二十七日 十二時 氷川丸、二十八日 八時 VH二號、三十日 十七時 慶仙丸 著

⑥ 海三六

⑦ 總務部、積復

⑧

0341

第九番電 (二八一三三〇)

一、二十八日八時浦賀著

二、行新甲常用軍刀一三節

三、收容人員 二三 五名

(一) 艦隊 二九 (將校 三、准尉 二、下士官 兵 一四)

(四) 海軍 二六 (士官 二〇、准士官 五、下士官 兵 六六、軍屬 二五)

(八) 遺骨 三三

(二) 患者 六、以要入院患者 四、傳染病患者 五

(終)

0342

普通電報

① 二復總務部

② 葛城 横夜、補費機護局

(連) 第三六通電 (二九、二二九)

一、收容總員數 (クダニニニニ、川ニニク) 六三〇〇、唐港 五七

計 八五八九

二、陸軍 八五八四、海軍 三、兵 二、

三、要入時患者 陸軍、海軍、兵、(時要世六)

四、南西方面残留者概數 十月二十日現在 陸軍 九一八三四

五、主監部隊名

一、通電第二師團司令部 及其の懸下部隊 (通電、義部隊) 以下

第五聯隊、第七隊、第十一隊、第十四兵站警備隊、陸上

勤務隊、第八五四、同、第九百中隊、第十特別ウシニ隊、第四特設ケウ

コウ隊、第四特設工隊、第五特設ケウコウ隊、第七特設工務大隊

第十二兵站病院 外六部隊

(續)

④ 樺

(運)

第一〇番 鹿ハニニ一四五〇

⑤ 樺

宛 二復 總務部、横濱、

通 報 郵 一 九 海 一 二 八、

一 二十三日十四時三十分 浦賀に何す、ガム

二 ガムにシロク、ボラス、何す、便乗者 計二四、ガムに陽陸落、以地何

三 伊乗者、ロコウハ、外 課 七 官 五 三、 陸 七、 下 士 官 兵 一 三 三

患 者 二 五 を 合 せ

三、 浦賀 歸 航 後 左 の 整 備 を 要 す (現 状)

四、 予 以 る 際 電 機 一 基 總 分 解 機 置 (油 圧 下 降 ホ イ ト) の 流 出 あり 目 下 使 用 不 能

時 数 四 八 〇 時 間) (ロ、 ア、 ビ、 電 機 機 非 常 装 置 調 整 及 び 注 入 計 算 修 理

(規 定 同 款 より 程 當 早 く 依 勤 目 下 本 装 置 の 働 き 状 態 と 旨 し 運 送 し あり

油 圧 〇 四 附 近) (一、 二、 三、 項 目 は 浦 賀 工 員 派 遣 協 力 を

希 望 す、 此 の 場 合 約 七 日 間 以 て 完 成 予 定

(終)

0344

平文 至急電報

宛 第一復員局

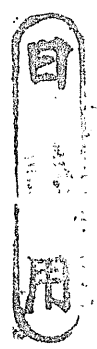
上海連絡班長 松井

一、漢口釋放陸軍約三六〇名十二月三日頃歸國ノ爲上海着
ノ豫定、當地長滞在、大ノ困難ヲ伴フ爲至急配船ヲ乞
フ

二、右ノ他上海ニ陸軍約一一〇〇名邦人約三〇〇名ノ歸國
者アリ、内陸軍三〇〇名邦人三〇〇名ハ直グ乘レシ
三、以上ハ當地水軍ニモ連絡済

(終)

昭三
一、〇、三、一、一、一、一
二、〇、三、一、一、一、一
一、〇、九、〇、〇、〇、〇
一、〇、五、〇、〇、〇、〇
一、〇、〇、〇、〇、〇、〇



0345

(第二復員局ヨリ廻付)

至急電報

③ 總務部長、佐復長

第七三番電 (一一、一九〇〇)

④ 博多上陸地

昭二一、一〇、一四、

同誌用

聯合軍船舶ニ依ル歸還軍人報告

船名	2、		3、		4、		5、		6、
	月	日	日	日	計	陸軍	海軍	内訳	
米 V〇七六(運)	九月	二十八日	十月	八日	三三六八	一五八	三三〇	ナシ	
〃 V〇七四(運)	九月	二十七日	十月	九日	三五三九	二九六	三二四	ナシ	

⑤ 胡盧島派遣隊長

⑥ 總務部、博運、佐復、胡盧島特諭

第八番電 (九、一七三〇)

十月九日

一、VH一、二、九日 出港船 佐世保行*

0346

傳 号	保 世 佐					入 港 地
V 一 〇	Q 九 四	Q 八 一	Q 三 四	Q 一 〇	新 興 丸	船 名
三 四 一 一	一 二 一 八	一 一 二 九	二 二 一 〇	一 二 〇 八	一 二 三 八	乗 船 人 員
二 五 〇				五 五	六 八 二	(内 陸 軍)
十 二 日	十 三 日	十 三 日	十 三 日	十 三 日	十 五 日	日
十 二 時	八 時	八 時	七 時	八 時	八 時	時
						摘 要

① 榎 ② 榎
 ③ 榎 ④ 榎
 ⑤ 榎 ⑥ 榎
 ⑦ 榎 ⑧ 榎
 ⑨ 榎 ⑩ 榎
 ⑪ 榎 ⑫ 榎
 ⑬ 榎 ⑭ 榎
 ⑮ 榎 ⑯ 榎
 ⑰ 榎 ⑱ 榎
 ⑲ 榎 ⑳ 榎
 ㉑ 榎 ㉒ 榎
 ㉓ 榎 ㉔ 榎
 ㉕ 榎 ㉖ 榎
 ㉗ 榎 ㉘ 榎
 ㉙ 榎 ㉚ 榎
 ㉛ 榎 ㉜ 榎
 ㉝ 榎 ㉞ 榎
 ㉟ 榎 ㊱ 榎
 ㊲ 榎 ㊳ 榎
 ㊴ 榎 ㊵ 榎
 ㊶ 榎 ㊷ 榎
 ㊸ 榎 ㊹ 榎
 ㊺ 榎 ㊻ 榎
 ㊼ 榎 ㊽ 榎
 ㊾ 榎 ㊿ 榎

第六番艦(四、〇六三五)

一 榎 四日十九時三十分 大竹ニ向ケ「マニラ」發十日 十三時着予是

二 收容員数 陸軍 二七七名、海軍 二三名 計 三〇〇名

三 内訳 現病部隊ニシテ 各府縣 一〇名平均

四 要入院患者 ナシ

0347

25

平文

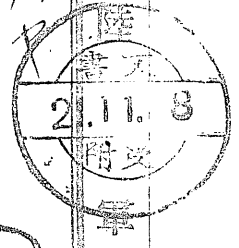
電報譯

二月 七日 午前

午後 一時 三十分 七〇〇

發信地

イサハ



史実調査部長宛

發信者長崎地方世話部長

第 1 號

ヤナ瀬健吾は九日十二時迄に出頭せしむ

第一報 松山事務所

終

0348

總務課	官房長	前書長	人事課	總務課	總務課	復員課	資料課	業務課	經理課	定額課	法務課	連絡課	整理課	番付課	商復東京班	二復局	内務課	外務課	厚生課
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----

平大 至急電報

宛 第一復員局

上海連絡班長 松井

一、漢口釋放陸軍約三六〇名十二月三日頃歸國ノ爲上海着
ノ豫定、當地長滞在尋大ノ困難ヲ伴フ爲至急配船ヲ乞フ

二、右ノ他上海ニ陸軍約一一〇名邦人約三〇名ノ歸國者アリ、内陸軍三〇名邦人三〇名八直ガ衆トシ
三、以上ハ當地米軍ニ毛連絡濟

(終)

昭
一、〇、一、一、一、一、一
二、〇、三、〇、〇、〇、〇
一、〇、九、〇、〇、〇、〇
一、〇、五、〇、〇、〇、〇
一、〇、〇、〇、〇、〇、〇



0349

(第二復員局引廻付)

普通電報

④ 總務部 佐復

第五番電 (二五〇八三〇)

⑤ 胡蘆島派遣隊長

昭二二

目録用

0350

十月二十五日 八時 (現在)

一 海 七八、粟島、樫、長運丸、D五七、海 七五、V九九、Q三六

海 一三四、Q六九、輸 一四七、計 一二隻

二 本日出港予定船 S B 一〇九、Q 四四、Q 八七、計 三隻

三 二十四日出港船

伊豆行 氷川丸 一一三三名 口 艦軍 一一二

V H 二號 七七九名 口 艦軍 八六

雲仙丸 一七一八名

二十七日 十二時 氷川丸 二十八日 八時 V H 二號 三十日 十七時 雲仙丸 着

⑥ 海 三六

⑦ 總務部 積復

第九番電 (二八一五三)

一 二十八日八時浦賀着

二 行動中常用要力 一 三節

三 收容人員 二三 五名

四 艦隻 二九 (特設兵 海尉 二、下士官 兵 二四)

五 海軍 一六 (士官 二〇、海士 五、下士官 兵 六六、軍属 二五)

六 遺骨 二三

七 患者 六 以下入院患者 四 傳染病患者 二

終

0351

普通電報

① 二復總務部

② 葛城 横夜、補費後援尉

(運) 第三六番電 (二九一二三九)

一、收容總員数 「クダム」ニニニニ、カニソック」六三〇〇、香港 五七

計 八五八九

六、陸軍 八五八四、海軍 三、民 三、

三、要入院患者 海軍の力 一七四(内要胆六)

四、南西方面残留者概数(十月二十日現在) 陸軍 九一八三四

海軍 一三三〇九、民間 二八三、

五、主要部隊名

近衛第二師團司令部及其の隷下部隊(道經、義部隊) 八六

第五聯隊、第七聯隊、第十一聯隊、第四十二兵站警備隊、陸上

勤務第八十五中隊、同第百甲隊、第十特別ウミエ隊、第四特設ケウ

コウ隊、第四特設工隊、第五特設ウツコウ隊、第七特設工務大隊

第十三兵站病院 外六部隊

(終)

①

平文

電報譯

一月三日 午前午後

九時五分

一三〇〇五

取發 番號

史実調査部長宛

發信者

楠

本

第 號

下妻に居る旅行中にて行先不明

(終)

檢閱者

陸

大谷

發信地

オウマリ

0354

課長

(第復員局ヨリ延在)

至急電致

○ 總務部、横濱

(運) 函 二六番電 (二五二三四〇)

一、二十日十二時四十五分「ライパン」着 二十日、海軍一八八、陸軍一三二

計二〇〇、收容、上十六時同発 二十日十六時、海軍一三二

定 尚 押總人二名

二、「ライパン」係 残留員数 海軍官以上四、下等一五、海軍一三二

計 四一四 押總人二名 (八院中)

○ 早崎

○ 總務部、兵運航部長、大竹上選、○ 横、他各運航部

(運) 第一番電 (二二三二マロ)

一、早崎 七月十六日十六時「シガホー」発 二十七日午前大竹二入港ノ

予定

二、收容員数 四九〇名

0356

内訳の内軍人 陸軍 四二七名、海軍 一三名

四 軍服 陸軍 六名、海軍 四名

五 一般入 十シ 遺骨 一柱

三 要入院患者 九一名 (要担) 一名

若鷹

總務部 吳復、佐復

第一と番電 (一六一三〇)

若鷹第三番電 (十月二十日) 以後行動概要

六 十月二十日 泊地著 二十一人 人員收容、同日シン

ガポール 何ヶ発 十一日シンガポール 著 人員揚陸以後六日

送電機及ビ缶修理ス

四 收容總員数 七十八名、内訳 陸軍 七十六、海軍六、邦人一名

六 十月六日「バンバン」何ヶシンガポール 著 十月「シンガポール」著 人員

揚陸

四 收容總員数 九十五名、内訳 陸軍 九十四、邦人一名

十二月七番人員收容十九所 香港ニ何ヶシンガポール 著

(終)

(終)

0357

一 シンガポールに於ける收容状況は通り

(イ) 收容總員數 六五五名 外訳 陸軍 六八五名 外訳 六〇〇名

海軍 七名 邦人 二四名 (内 女 八名 子供 一〇名)

(ロ) 要入脱患者 一〇名

(ハ) シヤン 盤谷ゴアリタル外訳 日本軍司令部及精務隊に在る

二 南西方面 残留員數概況 (十月中旬 旬間)

(イ) シンガポール 二四二名、(ロ) マライ 二二八名、(ハ) シヤワ 一五五名

外訳 同タビヤ 七六六名、(イ) ゴー 五四名、(ロ) シン 一九九名

ボリー 一五名、(イ) ランジャ 一〇〇名、(ロ) 其ノ他 一六五名

(イ) ビルマ 三五〇名、(ロ) スマトラ 一〇〇名、(ハ) 南佛印 四〇名

外訳 戦犯關係 三〇名、(イ) セツスル復部 一〇名

(ハ) 「チヤンギ」刑務所 二〇〇名

(終)

桐

⑤ 二復局電信課

第 二 三番電 (二四三六) / 二

六 ドラツノニ於ケル收容人員 六五六名 内訳 海軍 二九九名 (内要入院

患者 三名、ガムニテ 二名 退艦) 陸軍 一名、海軍々属 三五三名 (内

要入院患者 二名) 朝鮮人 三名、現在員 計 五四五名

(終)

⑥ 輪一九

⑦ 電信課

⑧ 佐復

⑨ 二復、横復

第 四番電

一 二十日八時、ガム着

二 ガムニ於ケル收容人員 三五三、内訳 陸軍 一三、海軍 一七、計 三

(内病人 二五) 沖繩人 三二七 (内病人 三) 朝鮮人 五 (内戦犯 三)

三 二十五日五時五分、ガム発、カイパンヒテ沖繩人 三〇名 收容ノ上沖繩 二

向フ

0359

(發)

廣島県立資料館

著

復興總務部

(報)

佐々保復興局

第七五番電 (二三一一三〇)

一 沖繩(大島)二十首現在滞留者 一三五(二七〇)、送出予定数

四六四五(一三〇九三) 配船五隻内三隻使用毎週約一〇〇名

ヲ還送中(配船五隻及通管会二隻計七隻ヲ使用毎週約二

五〇〇ヲ還送ス)

二 石垣行ハ二十首現在九八名、滞留二十首中ニ全國ヨリ集合ス

予想 五〇五名

三 大島帰還予定者中ニ最近大島ニ於ケル生活難等ヲ考慮シ

帰還ヲ希望セザル者増加ノ傾向アリ

(終)

0360

⑤ 博多上巻

⑥ 總務部長 佐渡

第 三七番電 (三三〇八五〇)

聯合軍側艦船ニ依ル帰還人員報告

一 米國 VO七五(運)

二 胡盧島 十月三十一日 博多 十月三十一日

三 帰還總員数 三五八〇

四 陸軍 二九 海 ナシ 民 二三六二

六 ナシ

(印)

0361

④

杉

⑤

電徳紙

⑥

佐復 吳復

第七番電 (一一一三五〇)

二復總務部、横復 横邊統部、浦賀上達

一 十六時 浦賀上達

二 二十五日 十八時 浦賀着ノ子是

三 收容人員 陸軍 一六七 (内士官二) 海軍 二八三 (内士官一)

計 四五〇名、要入院患者一名

⑦

⑧

波風

⑨

二復電信課

發電不明?

一 十九日 十五時 三十分 浦賀上達 二十日 十四時 三十分 浦賀上達

終 二十四日十八時頃 真著 予定

六 十九日 船山 三才米船 (Y0一四六) ヨリ 二五七五ハレ此 搭載セリ

三 二十日 船山 左記 便乗セム (以下未着)

◎ 森

◎ 宿總務部、陸海運 物ハ 浪風

第六番 寛 (三三三三三)

四 便乗者 司令部 隊 四〇七名、内 訳 海軍 二八三 (士官一、准

士官九、下士官一五五 兵六五 軍属五四) 陸軍 (將校一、下士官

四六、兵九七)

五 患者 ナシ

六 二十日 現在 環地 残留者 二二三名、(トラック一七〇九名、コック

四二三名、前兵ナシ、軍人軍属ノミ) 全部 船山ニ 集結シマリ

◎

0363